

平成29年9月15日

那須烏山市議会議長 渡辺 健 寿 様

総務企画常任委員会委員長 沼田 邦彦

### 決算審査結果報告書

本委員会に平成29年9月8日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成29年9月11日（月）及び12日（火）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 沼田邦彦、滝口貴史、相馬正典、佐藤昇市、中山五男
- 4 説明のための出席者  
会計管理者兼会計課長 滝田勝幸、総合政策課長 両方裕、まちづくり課長 佐藤博樹、総務課長 福田守、税務課長 水上和明、議会事務局長 水沼透 他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の平成28年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

#### 各課横断的なもの

- ・防災情報も含めた多くの行政情報が、ICT（情報通信技術）により発信されている。しかし、市の人口の3分の1は高齢者であるが、そのうち相当数の方がICTを使いこなせていないのが現状と考える。また、平成34年には南那須地区の防災行政無線が使えなくなる。これらを踏まえ、市全域で高齢者も容易に行政情報を入手できる情報伝達手法について十分に検討されたい。

#### 総合政策課

- ・総合政策課ができてから10年近くが経過するが、設置当時に期待された、組織全体の調整、各課への指導的役割などの機能が十分に果たされていないように感じる。原点に立ち返り、期待された機能を発揮し、市の核として大いに活躍されたい。
- ・平成28年度は、補助金等を活用し、いくつかの市町との連携事業が実施された。また、様々な分野の民間企業と多くの協定も結ばれている。今後、さらなる相乗効果が生まれるような仕掛けづくりを期待する。

#### まちづくり課

- ・JR烏山線は、当市にとって欠くことのできない重要な資産の一つである。こ

の利便性の向上のため、さらには存続のためには、利用者の増加が欠かせない。そのために様々な取り組みをされているが、大きな成果は挙がっていないように見受けられる。例えば市職員が県都に出張する際は積極的に烏山線を利用するなどして、市全体で利用向上を図る気運を醸成されたい。なお、市民号については、烏山線利用向上に寄与するという本来の目的が達成できるよう工夫し、企画されたい。

- ・まちづくりに関する市民主導の取り組みに対し、財政面だけに留まらない側面的な支援、指導を施されたい。なお、補助金ありきの事業に対する支援は原則として行わず、補助金の交付終了後も継続して展開されることが見込まれることを財政的支援の前提とされたい。

#### **総務課**

- ・地方公務員法の改正により、実施が必須となった人事評価であるが、初年度の平成28年度は大分苦勞されたようである。完全な制度をつくることは簡単ではないと思う。職員のやる気を引き出す仕組みとなるよう努められたい。

#### **税務課**

- ・収税事務に関しては「法律に基づいた滞納整理」への転換を意識し、早期着手・早期処分を心掛けてきた、とのことである。法を遵守することは当然のことであり、その取り組みは評価するが、真に困窮する納税者に対する配慮を欠くことのないよう十分に留意されたい。